

4. 生涯学習の実態とニーズ

(1) 生涯学習の実態

1) 過去1年間の生涯学習経験

過去1年間の生涯学習経験をみたのが、図8である。

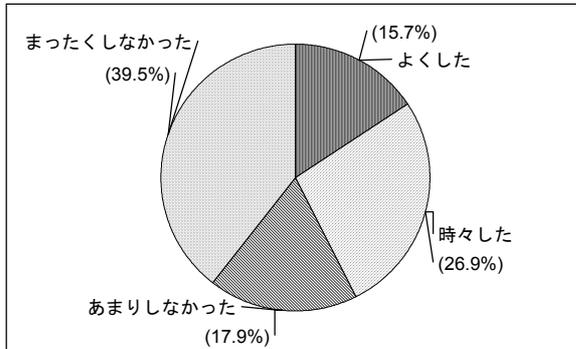


図8 生涯学習経験

その結果、生涯学習を「よくした」と回答した人の率は15.7%、「時々した」人の率を合わせると、42.6%の人が生涯学習を「した」と回答していた。

これを性別にみたのが、図9である。

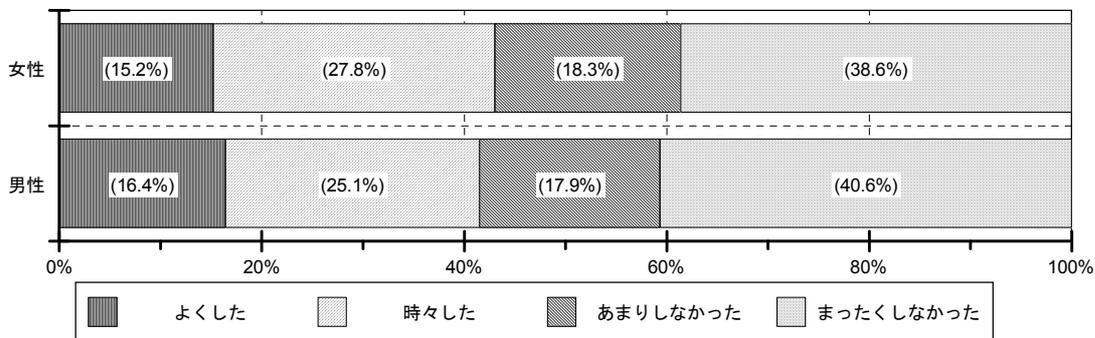


図9 性別にみた生涯学習経験

その結果、生涯学習を「した」と回答した人の率は、「女性」で43.0%、「男性」で41.5%であり、男女間に明確な差は認められなかった。

次に、年代別にみたのが、図10である。

その結果、生涯学習を「した」と回答した人の率は、「成人前期」の人で33.9%、「成人中期」の人で42.0%、「成人後期」の人で47.6%であり、学習経験率は、年代が高くなるにつれて高まる傾向が認められた。

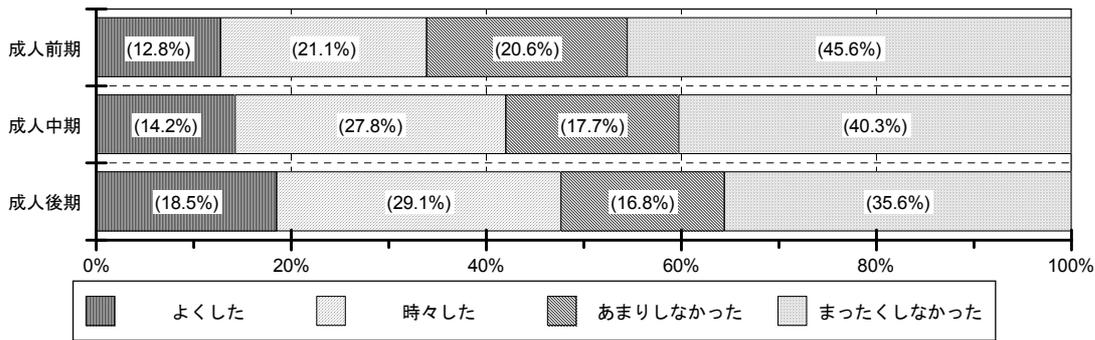


図 10 年代別にみた生涯学習経験

2) 生涯学習の内容

生涯学習の内容をみたのが、図 11 である。

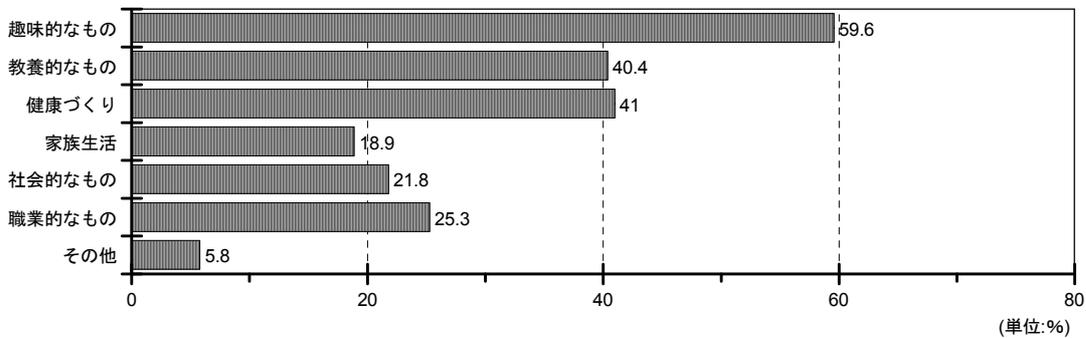


図 11 生涯学習の内容

その結果、学習内容としては、「趣味的なもの」をあげた人の率が 59.6%でもっとも高く、次いで「健康づくり (41.0%)」、「教養的なもの (40.4%)」の順となっていた。

これを性別にみたのが、図 12 である。

その結果、男女とも、「趣味的なもの」をあげた人の率をもっとも高いことは共通していたが、次いで「女性」では、「健康づくり」、「教養的なもの」の順、「男性」では「教養的なもの」、「健康づくり」の順となっていた。

相対的にみると、「趣味的なもの」と「家族生活」では「女性」の、「教養的なもの」と「職業的なもの」では「男性」の率が高くなっていた。

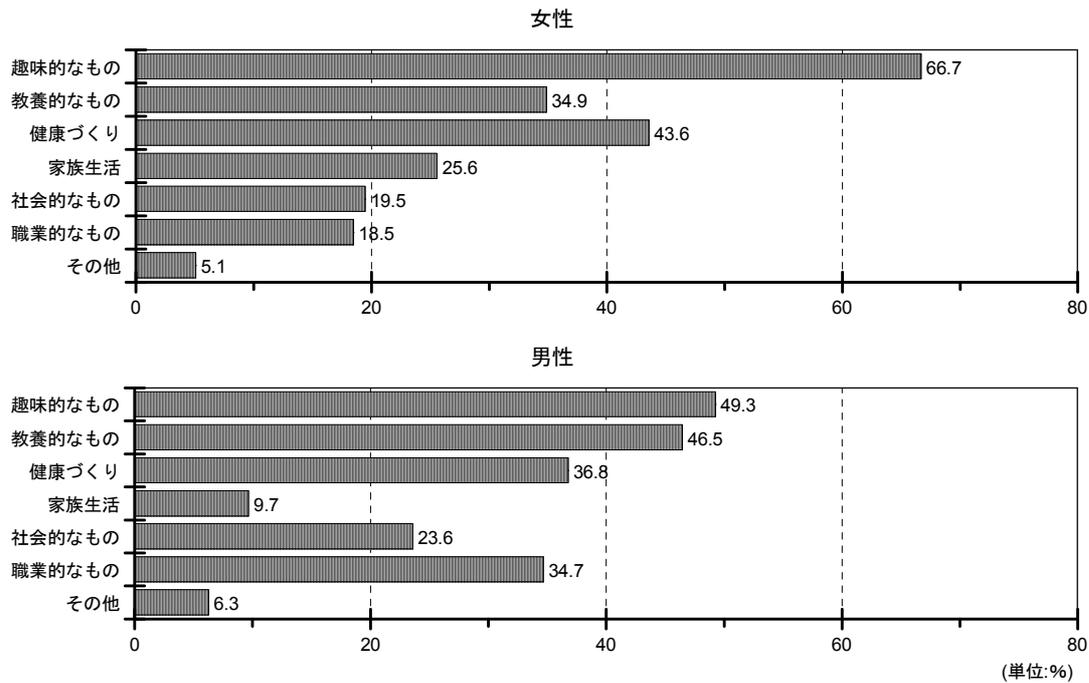


図 12 性別にみた生涯学習の内容

次に年代別にみたのが、図 13 である。

その結果、すべての年代で「趣味的なもの」をあげた人の率が高かったことは共通していたが、次いで「成人前期」の人では、「職業的なもの」、「教養的なもの」の順、「成人中期」の人では「教養的なもの」と「健康づくり」、「成人後期」の人では「健康づくり」、「教養的なもの」の順となっていた。

相対的にみると、「職業的なもの」では「成人前期」の人の、「趣味的なもの」、「教養的なもの」、「健康づくり」、「社会的なもの」では「成人後期」の人の率が高くなっていた。

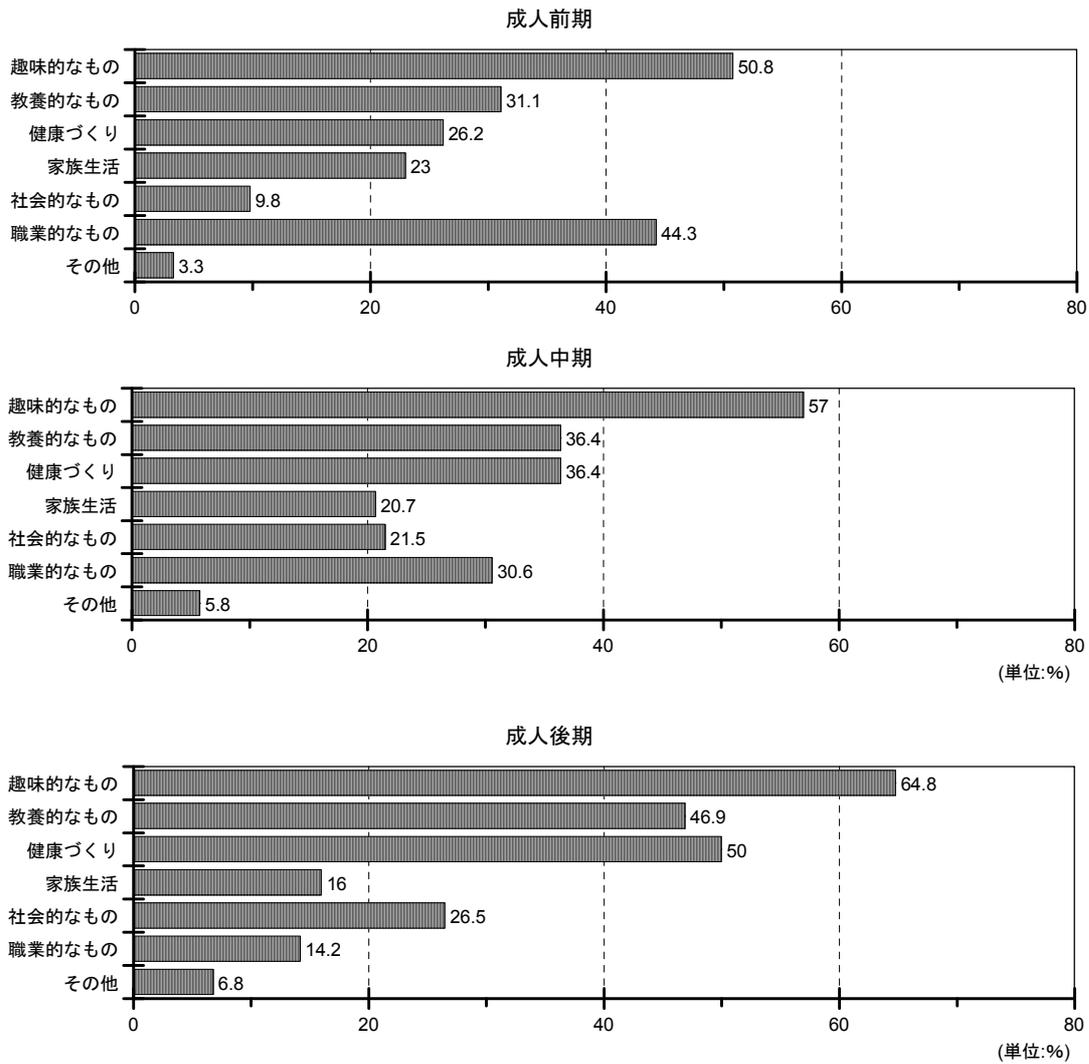


図 13 年代別にみた生涯学習の内容

3) 生涯学習の場所・形態

生涯学習の場所・形態をみたのが、図 14 である。

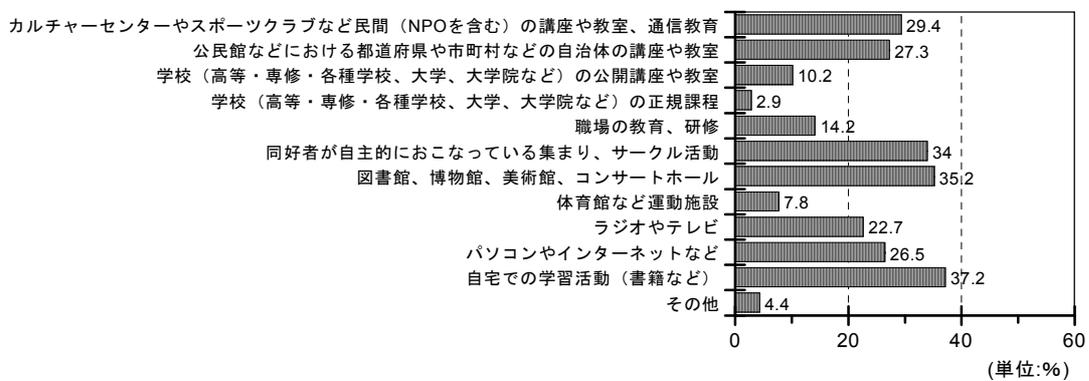


図 14 生涯学習の場所・形態

その結果、場所・形態としては、「自宅での学習活動（書籍など）」をあげた人の率が 37.2%でもっとも高く、次いで「図書館、博物館、美術館、コンサートホール（35.2%）」、「同好者が自主的にお

こなっている集まり、サークル活動（34.0%）」の順となっていた。

これを性別にみたのが、図 15 である。

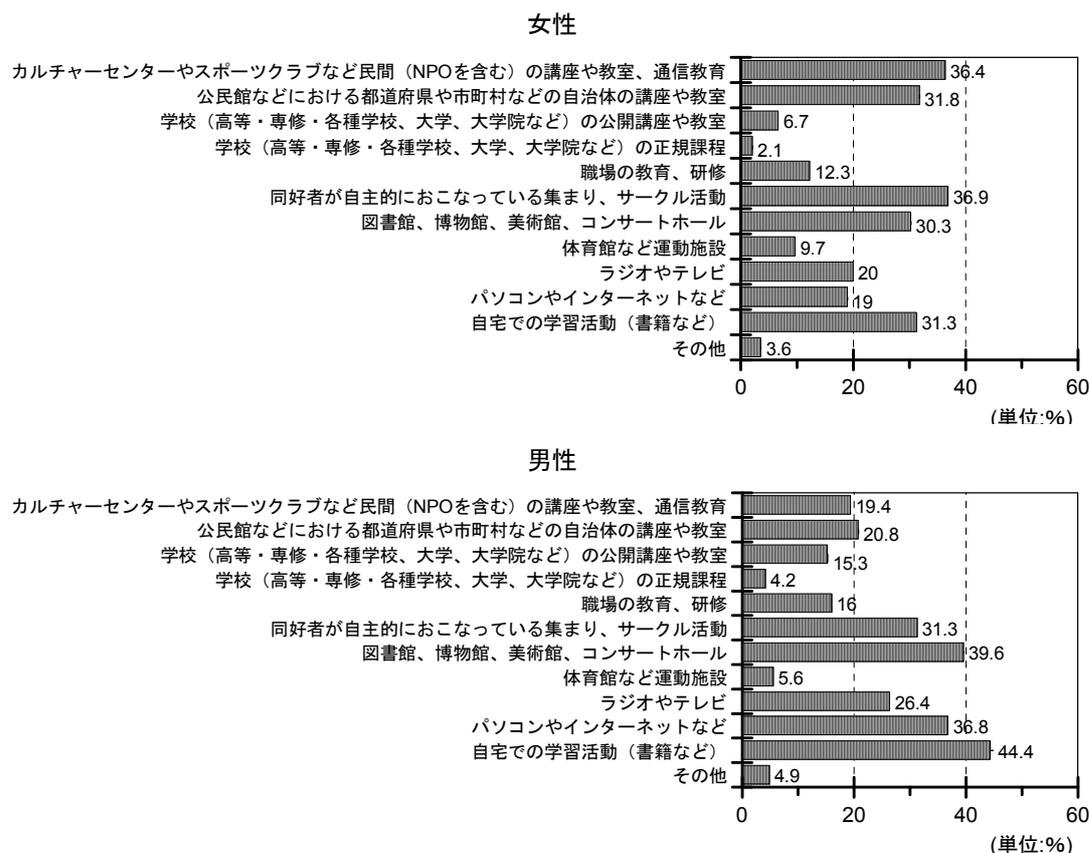


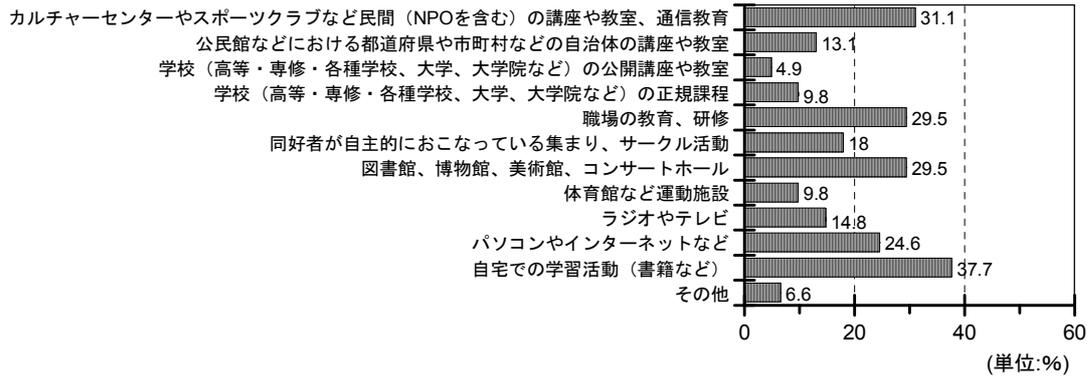
図 15 性別にみた生涯学習の場所・形態

その結果、「女性」では、「同好者が自主的におこなっている集まり、サークル活動」をあげた人の率が 36.9%でもっとも高く、次いで「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間（NPOを含む）の講座や教室、通信教育（36.4%）」、「公民館などにおける都道府県や市町村などの自治体の講座や教室（31.8%）」の順となっていた。一方、「男性」では、「自宅での学習活動（書籍など）」をあげた人の率が 44.4%でもっとも高く、次いで「図書館、博物館、美術館、コンサートホール（39.6%）」、「パソコンやインターネットなど（36.8%）」の順となっていた。

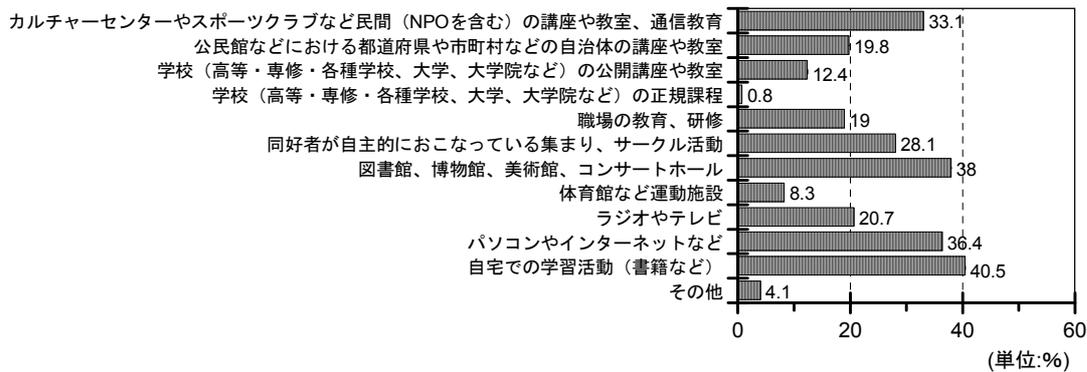
相対的にみると、「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間（NPOを含む）の講座や教室、通信教育」、「公民館などにおける都道府県や市町村などの自治体の講座や教室」、「同好者が自主的におこなっている集まり、サークル活動」では「女性」の、「図書館、博物館、美術館、コンサートホール」、「ラジオやテレビ」、「パソコンやインターネットなど」、「自宅での学習活動（書籍など）」では「男性」の率が高くなっていた。

次に年代別にみたのが、図 16 である。

成人前期



成人中期



成人後期

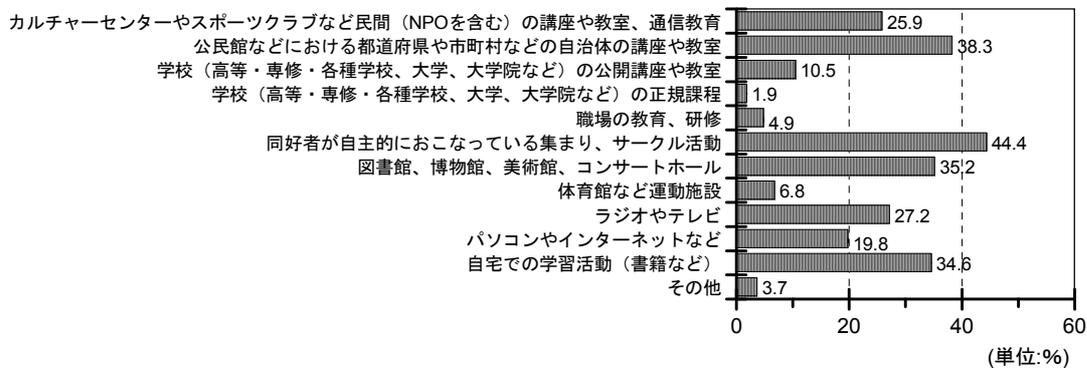


図 16 年代別にみた生涯学習の場所・形態

その結果、「成人前・中期」の人では、「自宅での学習活動（書籍など）」をあげた人の率が高いことは共通していたが、次いで「成人前期」の人では「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間（NPOを含む）の講座や教室、通信教育」、「職場の教育、研修」と「図書館、博物館、美術館、コンサートホール」の順、「成人中期」の人では「図書館、博物館、美術館、コンサートホール」、「パソコンやインターネットなど」の順となっていた。一方、「成人後期」の人では「同好者が自主的におこなっている集まり、サークル活動」をあげた人の率ももっとも高く、次いで「公民館などにおける都道府県や市町村などの自治体の講座や教室」、「図書館、博物館、美術館、コンサートホール」の順となっていた。

相対的にみると、「職場の教育、研修」では「成人前期」の人の、「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間（NPOを含む）の講座や教室、通信教育」では「成人前・中期」の人の、「パソコン

やインターネットなど」では「成人中期」の人の、「図書館、博物館、美術館、コンサートホール」では「成人中・後期」の人の、「公民館などにおける都道府県や市町村などの自治体の講座や教室」、「同好者が自主的におこなっている集まり、サークル活動」、「ラジオ、テレビ」では「成人後期」の人の率が高くなっていた。

4) 生涯学習をしなかった理由

生涯学習をしなかった理由をみたのが、図 17 である。

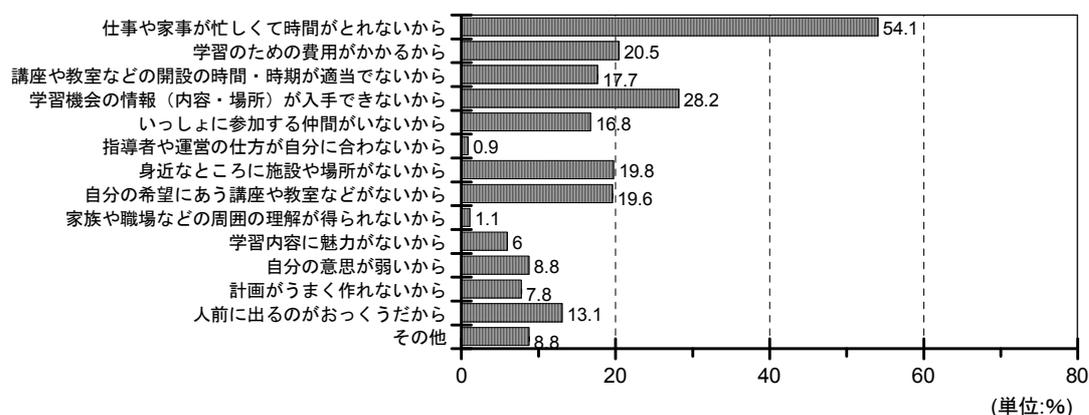


図 17 生涯学習をしなかった理由

その結果、理由としては、「仕事や家事が忙しくて時間がとれないから」と回答した人の率が、54.1%でもっとも高く、次いで「学習機会の情報（内容・場所）が入手できないから（28.2%）」、「学習のための費用がかかるから（20.5%）」の順となっていた。

これを性別にみたのが、図 18 である。

その結果、男女とも「仕事や家事が忙しくて時間がとれないから」と回答した人の率ももっとも高く、次いで「学習機会の情報（内容・場所）が入手できないから」であることは共通していたが、次いで「女性」では「学習のための費用がかかるから」、「男性」では「身近なところに施設や場所がないから」と「自分の希望にあう講座や教室などがないから」となっていた。

相対的にみると、「仕事や家事が忙しくて時間がとれないから」、「学習のための費用がかかるから」、「講座や教室などの開設の時間・時期が適当でないから」では「女性」の、「学習機会の情報（内容・場所）が入手できないから」では「男性」の率が高くなっていた。

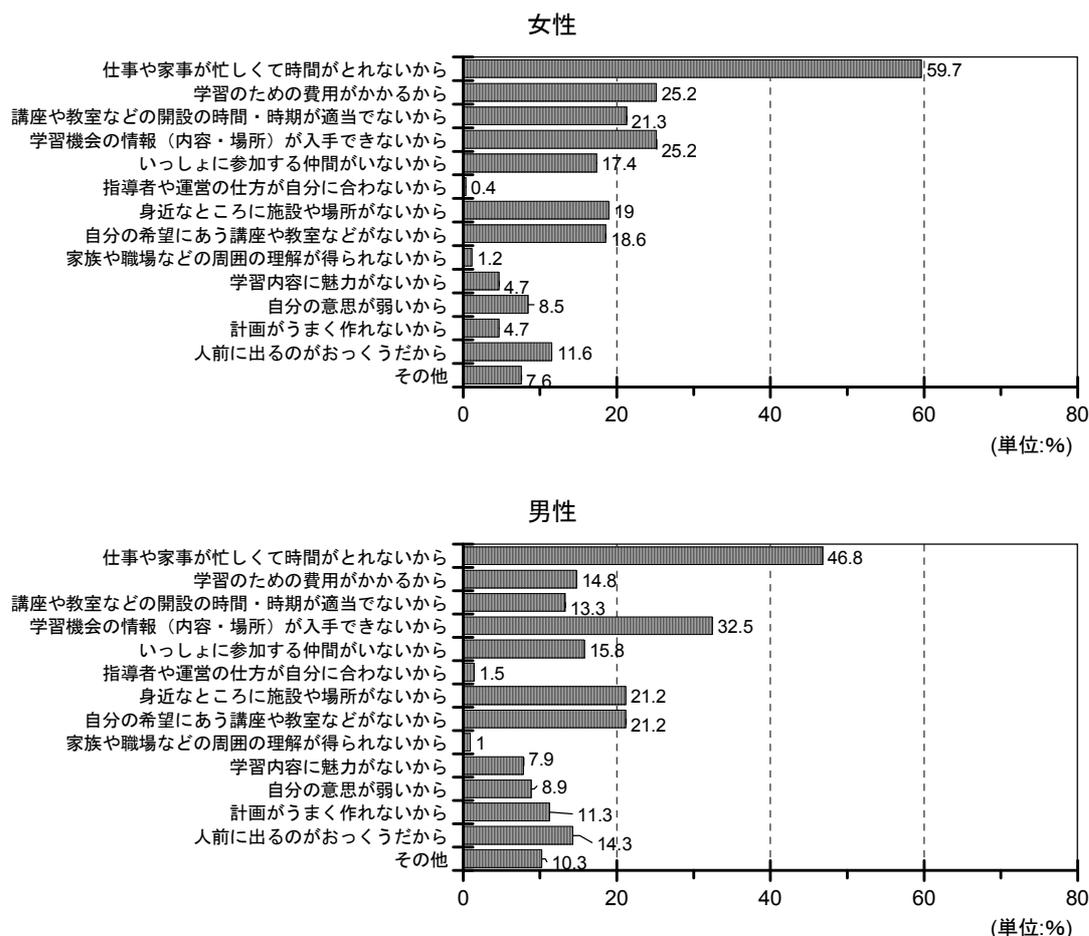


図 18 性別にみた生涯学習をしなかった理由

次に年代別にみたのが、図 19 である。

その結果、理由としては、すべての年代で「仕事や家事が忙しくて時間がとれないから」と回答した人の率もっとも高く、次いで「学習機会の情報（内容・場所）が入手できないから」であることは共通していたが、次いで「成人前・中期」の人では「学習のための費用がかかるから」、「成人後期」の人では「身近なところに施設や場所がないから」となっていた。

相対的にみると、「仕事や家事が忙しくて時間がとれないから」、「学習のための費用がかかるから」、「講座や教室などの開設の時間・時期が適当でないから」、「学習機会の情報（内容・場所）が入手できないから」では「成人前・中期」の人の、「いっしょに参加する仲間がないから」と「身近なところに施設や場所がないから」では「成人後期」の人の率が高くなっていた。

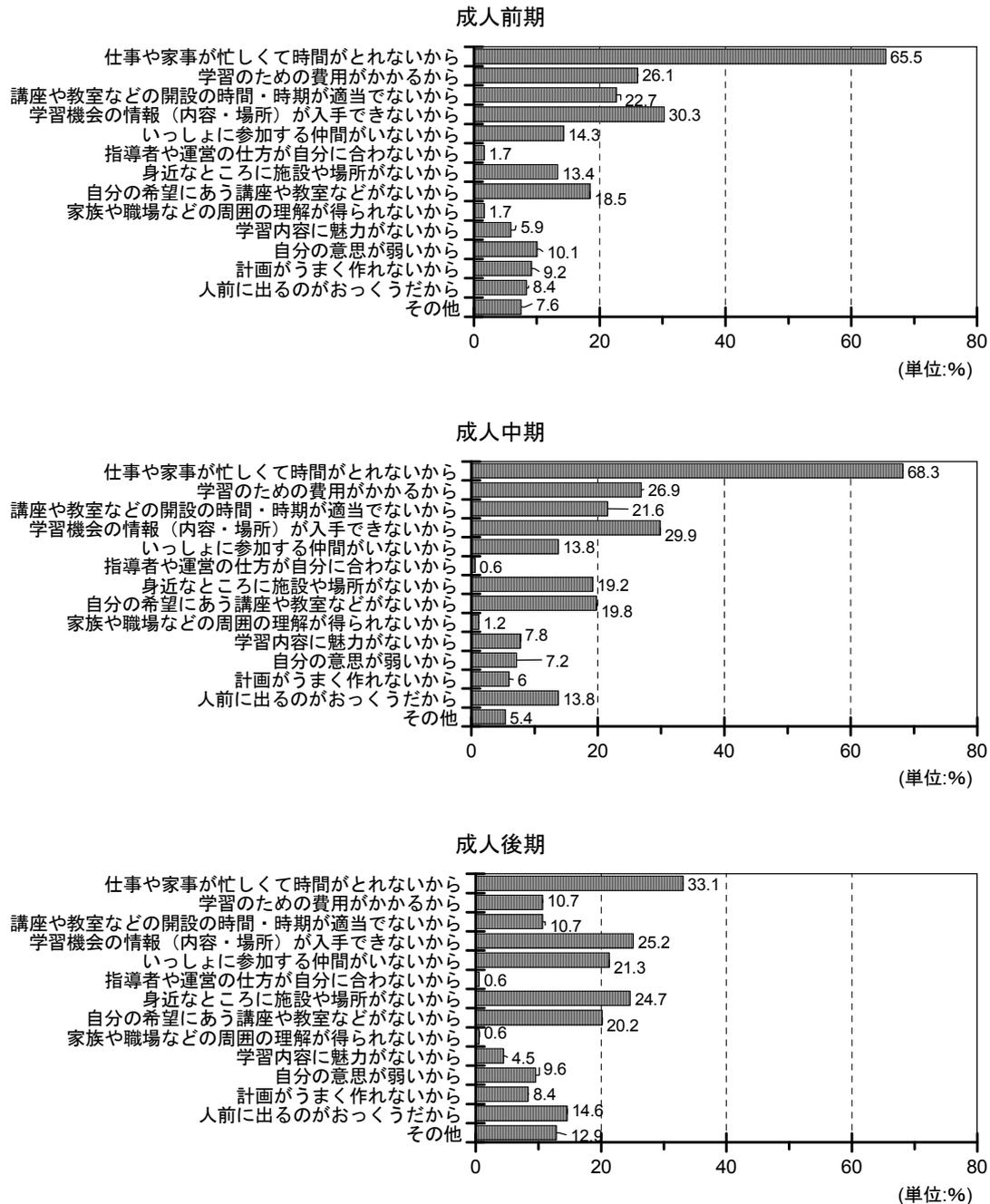


図 19 年代別にみた生涯学習をしなかった理由

(2) 生涯学習のニーズ

1) 生涯学習のニーズ

生涯学習のニーズをみたのが、図 20 である。

その結果、生涯学習を「ぜひしたい」と回答した人の率は 28.0%、「できればしたい」人の率を合わせると、80.6%の人が生涯学習を「したい」と回答していた。

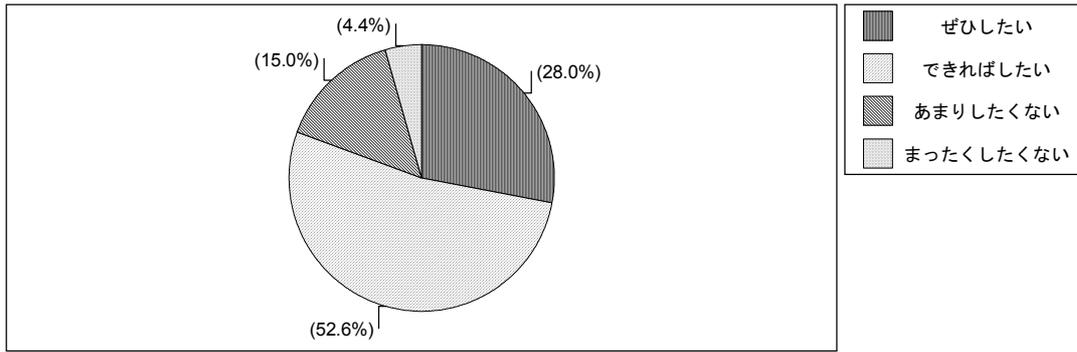


図 20 生涯学習のニーズ

これを性別にみたのが、図 21 である。

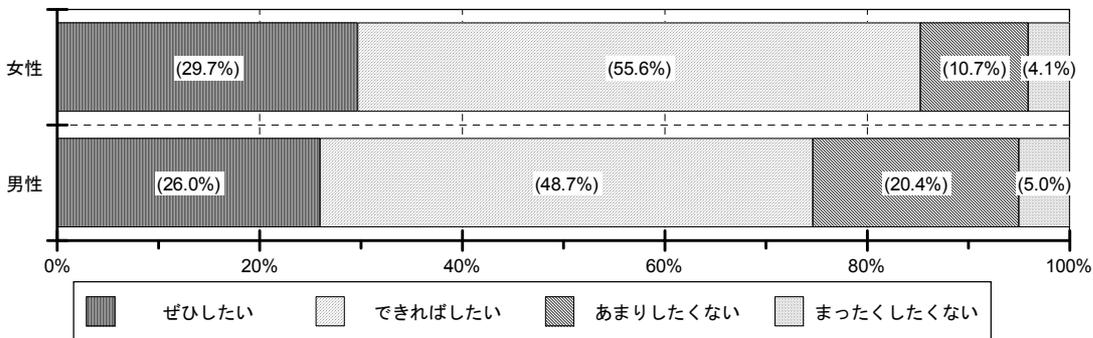


図 21 性別にみた生涯学習のニーズ

その結果、生涯学習を「したい」と回答した人の率は、「女性」で 85.3%、「男性」で 74.7%であり、生涯学習を「したい」人の率は、「女性」で高くなっていた。

次に、年代別にみたのが、図 22 である。

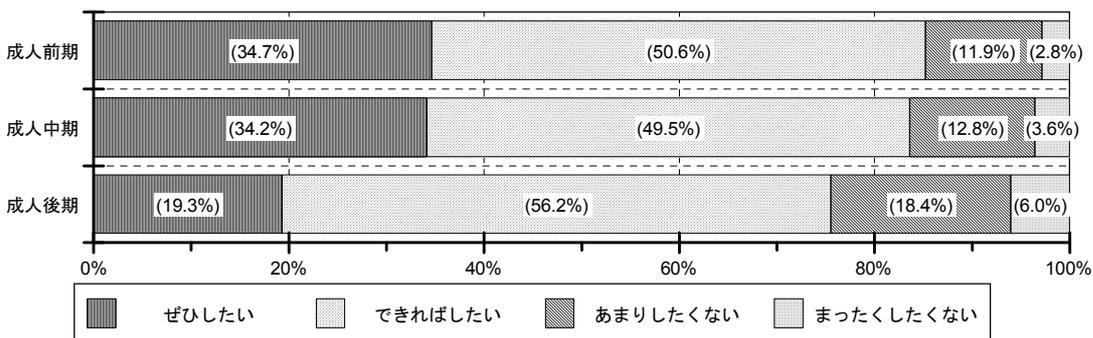


図 22 年代別にみた生涯学習のニーズ

その結果、生涯学習を「したい」と回答した人の率は、「成人前期」の人で 85.3%、「成人中期」の人で 83.7%、「成人後期」の人で 75.5%であり、生涯学習を「したい」人の率は、「成人後期」の人でやや低くなっていた。

2) 生涯学習内容のニーズ

生涯学習内容のニーズをみたのが、図 23 である。

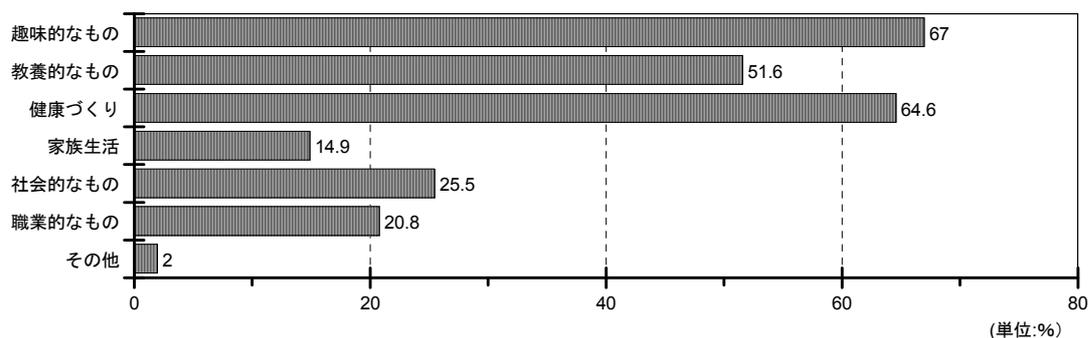


図 23 生涯学習内容のニーズ

その結果、学習内容のニーズとしては、「趣味的なもの」をあげた人の率が 67.0%でもっとも高く、次いで「健康づくり (64.6%)」、「教養的なもの (51.6%)」の順となっていた。

これを性別にみたのが、図 24 である。

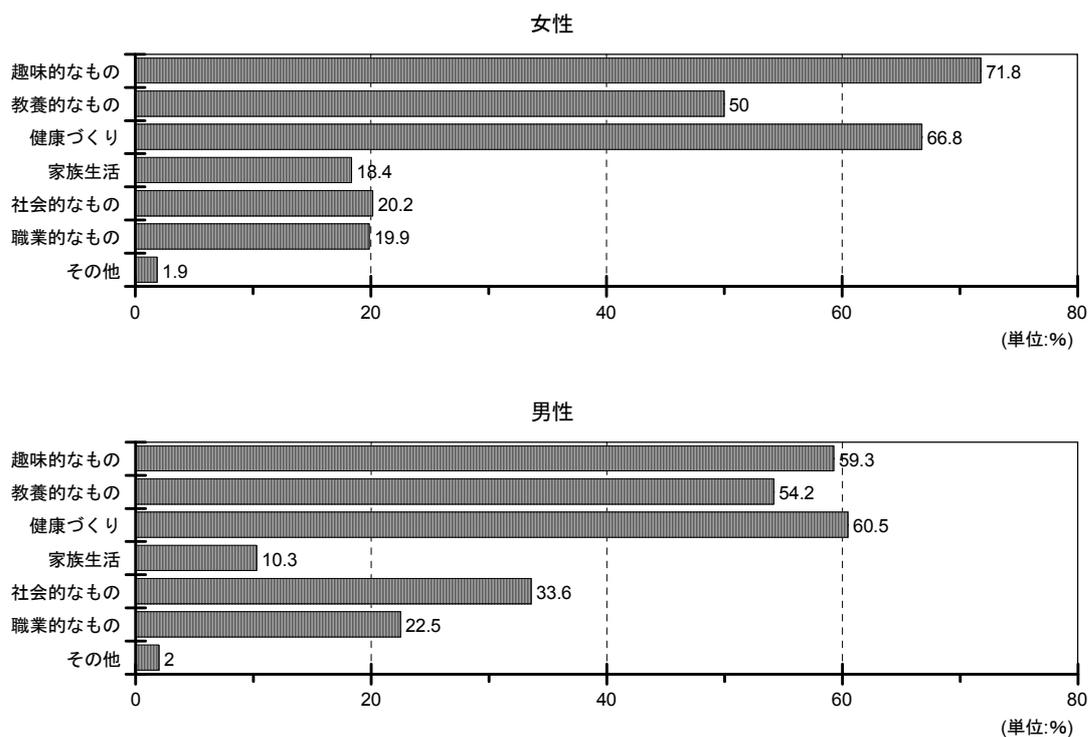


図 24 性別にみた生涯学習内容のニーズ

その結果、「女性」では「趣味的なもの」をあげた人の率が 71.8%でもっとも高く、次いで「健康づくり (66.8%)」、「教養的なもの (50.0%)」の順となっていた。一方、「男性」では「健康づくり」をあげた人の率が 60.5%でもっとも高く、次いで「趣味的なもの (59.3%)」、「教養的なもの (54.2%)」の順となっていた。

相対的にみると、「趣味的なもの」と「健康づくり」では「女性」の、「社会的なもの」では「男性」の率が高くなっていた。

次に年代別にみたのが、図 25 である。

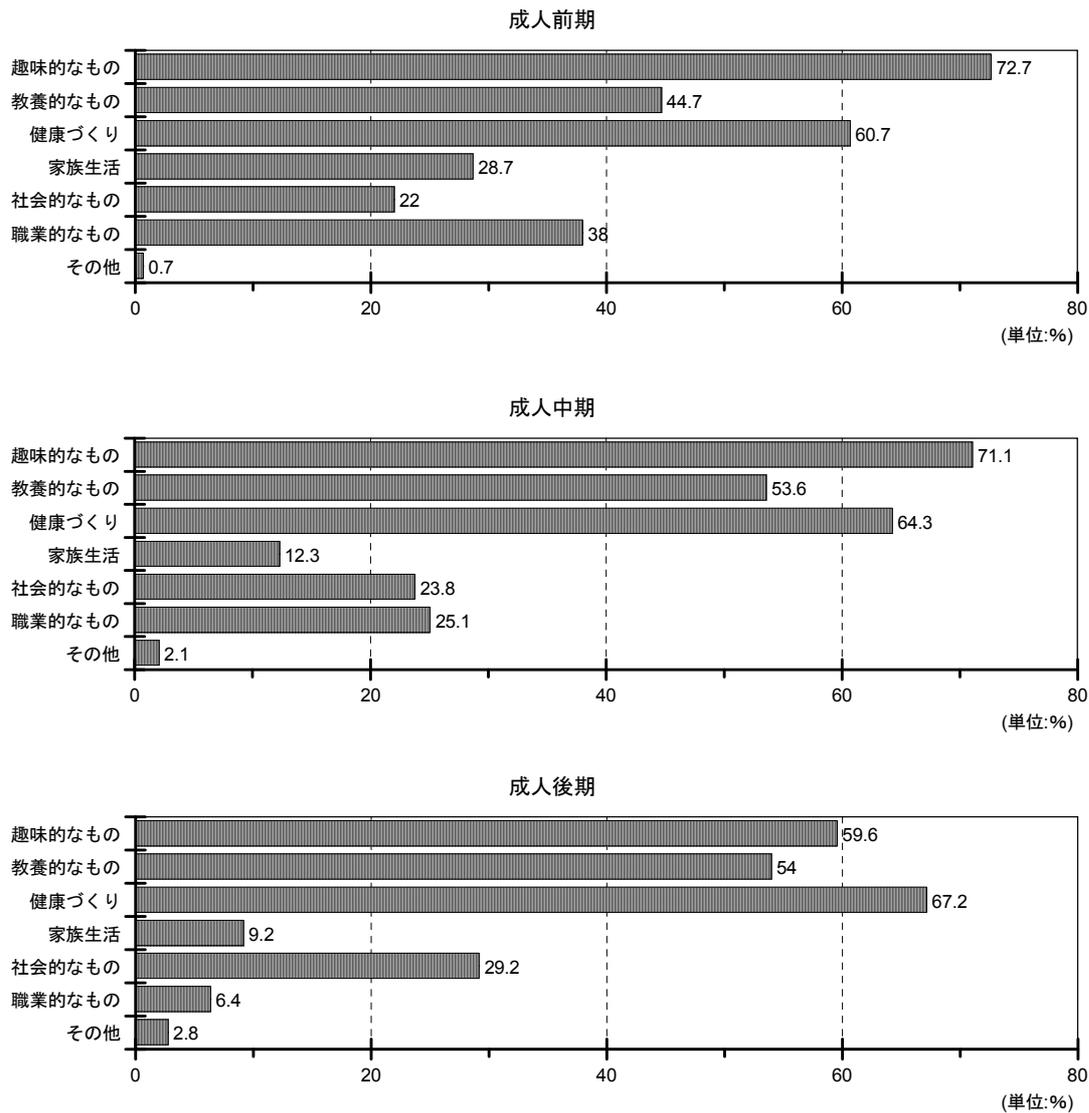


図 25 年代別にみた生涯学習内容のニーズ

その結果、「成人前・中期」の人では、「趣味的なもの」をあげた人の率ももっとも高く、次いで「健康づくり」、「教養的なもの」の順となっていた。一方、「成人後期」の人では、「健康づくり」をあげた人の率ももっとも高く、次いで「趣味的なもの」、「教養的なもの」の順となっていた。

相対的にみると、「職業的なもの」と「家族生活」では「成人前期」の人の、「趣味的なもの」では「成人前・中期」の人の、「教養的なもの」では「成人中・後期」の人の、「健康づくり」と「社会的なもの」では「成人後期」の人の率が高くなっていた。

3) 生涯学習機会のニーズ

回答者が、どのような生涯学習の機会が増えればよいと思っているのかをみたのが、図 26 である。

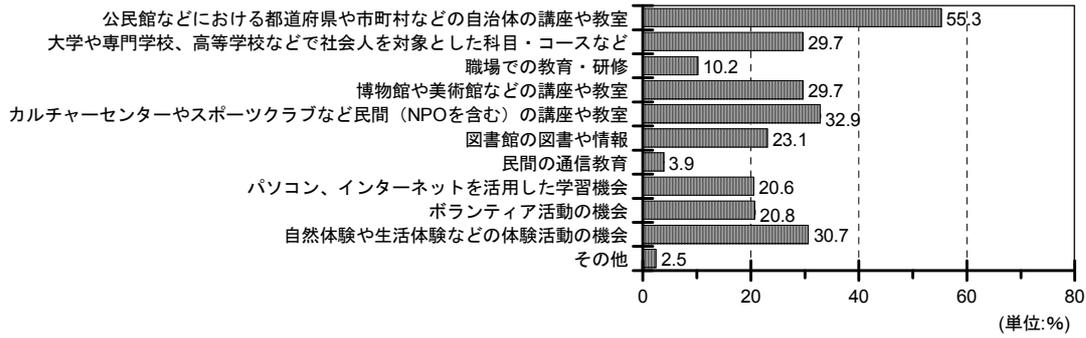


図 26 生涯学習機会のニーズ

その結果、学習機会のニーズとしては、「公民館などにおける都道府県や市町村などの自治体の講座や教室」をあげた人の率が55.8%でもっとも高く、次いで「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間（NPOを含む）の講座や教室（32.9%）」、「自然体験や生活体験などの体験活動の機会（30.7%）」の順となっていた。

これを性別にみたのが、図 27 である。

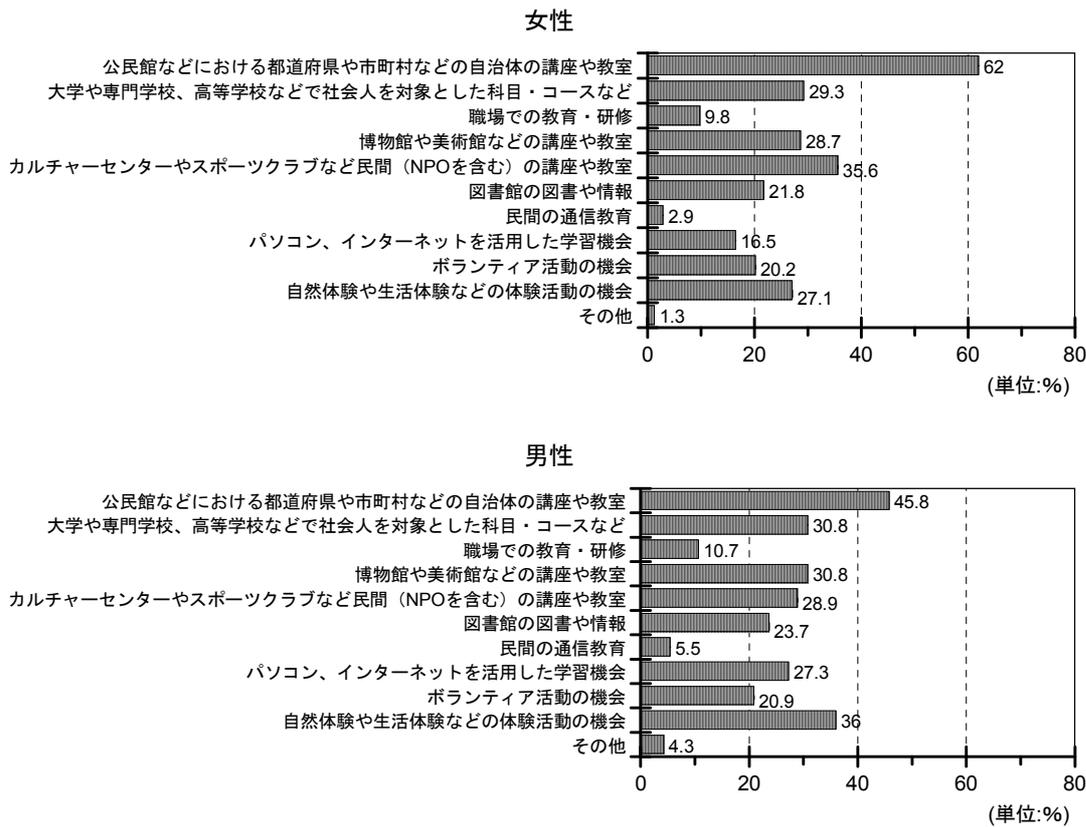


図 27 性別にみた生涯学習機会のニーズ

その結果、男女とも「公民館などにおける都道府県や市町村などの自治体の講座や教室」をあげた人の率が高かったのは共通していたが、次いで「女性」では「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間（NPOを含む）の講座や教室」、「大学や専門学校、高等学校などで社会人を対象とした科目・コースなど」の順、「男性」では「自然体験や生活体験などの体験活動の機会」、

「大学や専門学校、高等学校などで社会人を対象とした科目・コースなど」と「博物館や美術館などの講座や教室」の順となっていた。

相対的にみると、「公民館などにおける都道府県や市町村などの自治体の講座や教室」と「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間（NPOを含む）の講座や教室」では「女性」の、「パソコン、インターネットを活用した学習機会」と「自然体験や生活体験などの体験活動の機会」では「男性」の率が高くなっていた。

次に年代別にみたのが、図 28 である。

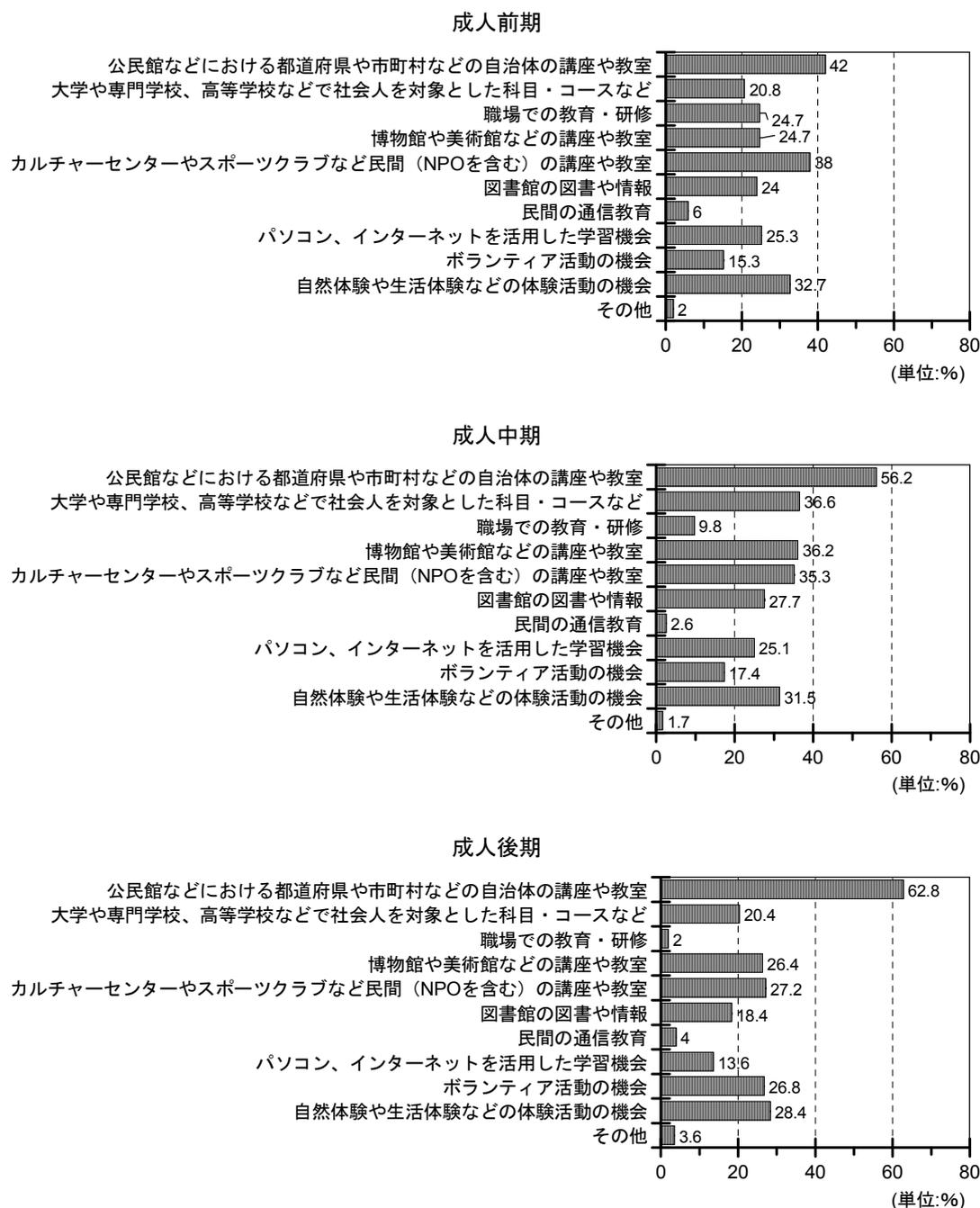


図 28 年代別にみた生涯学習機会のニーズ

その結果、すべての年代で「公民館などにおける都道府県や市町村などの自治体の講座や教室」をあげた人の率が高かったが、次いで「成人前期」の人では「カルチャーセ

ンターやスポーツクラブなど民間（NPOを含む）の講座や教室」、「自然体験や生活体験などの体験活動の機会」の順、「成人中期」の人では「大学や専門学校、高等学校などで社会人を対象とした科目・コースなど」、「博物館や美術館などの講座や教室」の順、「成人後期」の人では「自然体験や生活体験などの体験活動の機会」、「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間（NPOを含む）の講座や教室」の順となっていた。

相対的にみると、「職場での教育・研修」では「成人前期」の人の、「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間（NPOを含む）の講座や教室」、「図書館の図書や情報」、「パソコン、インターネットを活用した学習機会」では「成人前・中期」の人の、「大学や専門学校、高等学校などで社会人を対象とした科目・コースなど」と「博物館や美術館などの講座や教室」では「成人中期」の人の、「公民館などにおける都道府県や市町村などの自治体の講座や教室」と「ボランティア活動の機会」では「成人後期」の人の率が高くなっていた。